

「いづみ界限」通信 No.18

旧北国街道いづみ界限を考える会

「加賀の千代女」に触れて

念西寺 親子30人が句作楽しむ



旧北国街道いづみ界限を考える会は8月4日、念西寺で加賀の千代女を知る俳句教室を開き、参加した親子30人が千代女の話や句作を楽しみました。念西寺の伴田清観住職から加賀の千代女が江戸時代の宝暦年間（1751～64）に5～7年間を同寺で過ごし「あさがおや つるべとられて もらひみず」を詠んだ話を聞き、ゆかりの「井戸」を見学しました。引き続き、講師の永島正枝さんから俳句の作り方を学び、全員が一句、俳句を詠み講評を受けました。最優秀賞には角村佳緒琉くん（泉本町にしき会）の「ご先祖■が行ったり来たりなすきゅうり」と池田孝さん（泉誠交會）の「用水や平家源氏の舞踏会」が選ばれました。

9月23日(祝)奉納獅子舞に向け練習開始

泉獅子保存会（野々市芳朗会長）は9月23日（祝）の奉納獅子舞に向けて8月7日から毎週月、水、金曜日の3日間、午後7時から國造神社境内で練習会をスタートさせます。対象は神社氏子関係町会の小学1年生から中学生の男女希望者で棒、なぎなたの演武練習を行います。保存会では関心のある人の積極的な参加を募っています。